



クローバーブック・メイト 取扱説明書

2025年6月版

目次

はじめに	1
安全上のご注意	3
安全にお使いいただくために	5
液晶モニターに関するご注意	6
各部の名称	8
付属品	11
使用準備	12
◆遮光カバーの取付け	14
充電方法	15
電源ランプ	16
操作方法	17
電源ボタン	17
メニュー/戻るボタン	18
拡大・縮小	19
スクロール	20
◆操作レバー使用時のスクロール速度の変更	20
◆画像の位置	21
明るさ調整	22
カラーモード	23
◆お好みカラー選択	23
コントラスト	25

照明(LED ライト)	27
音量の調整	28
画像の静止	29
画像の保存、切り抜き保存、音声ラベルを付けて保存	30
◆撮影した画像をそのまま保存する方法	31
◆撮影した画像の一部を切り抜いて保存する方法	32
◆撮影した画像に音声ラベルを取り付ける	33
ラインとマスク	36
位置表示	38
オートフォーカスについて	39
焦点固定／解除	39
A4サイズの撮影	40
テキスト読み上げ	42
◆テキスト読み上げ時の操作バー及びその他の操作	46
◆テキスト読み上げの保存	49
保存ファイルの再生、転送、削除について	51
◆保存した画像や文書を再生する	53
1. 共通操作	53
2. 画像再生中にできること及び操作バーでの操作、読み上げ操作	54
2-1. 操作バーでの操作	55
2-2. 読み上げ操作	56
3. pdf 再生中にできること及び操作バーでの操作	57
3-1. 操作バーでの操作	58

4.txt 再生中にできること及び操作バーでの操作	60
4-1.操作バーでの操作	60
◆SD カードへ転送する	61
◆SD カードから本体へ転送する.....	64
◆市販の USB ケーブルでパソコンから画像や文書を転送する	66
◆保存した画像／文書を削除する	67
◆複数選択機能	68
HDMI 入出力.....	70
設定メニュー	72
◆基本設定ページのメニュー項目	73
1.色の組み合わせを変更する	73
2.傾き補正.....	73
3.省電力.....	74
4.画像の切り抜き.....	74
5.振動	74
6.音声ラベル	74
◆音声設定ページのメニュー項目	75
1.音声設定	75
2.言語設定	75
3.音声ガイド	75
◆工場設定ページのメニュー項目	75
1.システムリセット(初期設定)	75
2.電源周波数	76

リセット.....	77
廃棄の際のバッテリーユニットの取り外し方法.....	77
故障かな?と思ったら.....	79
電源が入らない.....	79
画面が黒いまたは白い.....	79
画像が変わらない.....	80
画面にしみやごみのようなものが映る.....	80
ピントが合わない.....	80
読み上げてる内容が意味不明になる.....	81
その他.....	81
商品仕様.....	83
お客様相談室.....	84

はじめに

このたびは、クローバーブック・メイト(以下「本機」)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機は、据置型読書器と携帯型読書器の利点を兼ね備えた、新しいタイプの読書支援機器です。12.5 インチの大型液晶を搭載し、見やすく書きやすいことに加え、分かりやすいボタン配置で、どなたでも簡単に操作できます。

また、折りたたんで持ち運びができるため、ご家庭や職場、学校など様々な場面でご活用いただけます。さらに、自然な音声による読み上げ機能を搭載し、視覚と聴覚の両面で読書などをお楽しみいただけます。

フル HD の高精細な画像は、約 1.5～60 倍まで拡大でき、静止画・動画問わず、スクロール操作によって快適に読み進められます。これにより、従来の XY テーブルを必要とせず、機器のコンパクト化を実現しました。

本機は、操作をサポートする音声ガイドや振動による機能を備えたタッチパネルなど、多彩な機能を搭載していますが、電源を入れるだけですぐに使用できる設計となっており、初めての方から日常的にご利用されている方まで、安心してお使いいただけます。

本説明書では、本機の基本的な使い方から各種機能の設定方法まで、わかりやすくご案内しております。末永くご愛用いただけますよう、ぜひご一読ください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために…

必ずお守り下さい

この「取扱説明書」の表示では、本装置を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。次の表示と図記号の意味をよくご理解いただいでから本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告



装置から液体が漏れ出している場合は、装置に触れない。失明や火傷などの事故の原因となります。特に、液体が目に入ってしまった場合は多量の水で水道水でただちに患部を洗浄し、至急医師の診断を受けて下さい。

また、液体に触れた場合や液体が染みた衣服などに触れた場合でも水道水でただちに洗浄し、医師の診断を受けて下さい。なお、これに併せてただちに販売店に連絡して下さい。



引火性のガスや発火性の物質がある場所では使用しない。火災、爆発の原因となります。



装置のカバー、キャビネットを外さない。感電の原因となります。内部の点検、整備や修理は販売店にご依頼下さい。



装置を分解、改造しない。火災や感電の原因となります。



表示された電源電圧で使用する。火災や感電の原因となります。

図記号の意味



名称：注意

意味：注意（しなければならないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。



名称：禁止

意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な禁止内容は近くに文章や絵で示します。



名称：風呂場・シャワー室での使用禁止

意味：装置を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。



名称：接触禁止

意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。



名称：分解禁止

意味：装置を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。



名称：強制

意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な内容は近くに文章や絵で示します。



名称：電源プラグをコンセントから抜け

意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので、図の中に具体的な指示内容が書かれています。



警告



万一、装置から煙がでていたり、異臭や異音がするなど、異常状態の場合は、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。煙などが出なくなるのを確認したのち、ただちに販売店に連絡して下さい。



万一、装置の内部に水、金属類などの異物が入ってしまった場合は、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。そのまま使用せずただちに販売店に連絡して下さい。



万一、装置を落としたり、カバーなどを破損した場合には、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。そのまま使用せず、ただちに販売店に連絡して下さい。



警告



風呂場、雨や雪が降っている屋外、その他水がかかるところ、湿気の多いところでは使用しない。感電の原因となります。



露の付いた状態で使用しない。感電の原因となります。



ケーブルの上に重いものをのせたり、ケーブルを装置の下敷きにしな。ケーブルが傷ついて火災や感電の原因となります。



ケーブルが痛んだら（芯線の露出、断線など）、すぐに使用を止め、販売店に交換を依頼する。火災や感電の原因となります。



ケーブルを無理に引っ張ったり、ねじったり、折り曲げたりしない。火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、装置や接続されたケーブルなどに触れない。感電の原因となります。



注意



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所で使用しない。火災や感電の原因となります。



濡れた手でACアダプタ、電源プラグやケーブルを抜き差ししない。感電の原因となります。



注意



必ず付属のACアダプタを使用する。他のACアダプタを使用すると、火災や感電の原因となる場合があります。



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う。感電の原因となる場合があります。



装置を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となる場合があります。



ケーブルを着脱するときは、プラグ部分を持って行う。ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となる場合があります。



ほこりの多い場所で使用しない。火災や感電の原因となる場合があります。
電源プラグや接続部にほこりが付着している場合は取り除いて使用して下さい。



SDカード作動中はSDカードを取り外さないで下さい。故障の原因となります。



使用中に本機の特にLEDライトや液晶モニターが熱く感じるがありますが、これはそれぞれの部品の放熱によるもので、異常ではありません。正常な状態でも、LEDライトの表面温度が約60度まで上がる場合がありますので、やけどにご注意ください。

安全にお使いいただくために



本機をはじめてご使用になる際は、バッテリーを充電してください。

「充電方法」を参照してください。



ご使用の際は、必ず 10° C～35° C の環境でご使用ください。



湿気が多い場所、雨、その他の液体物のそばに置かないでください。

また、水に入れないでください。



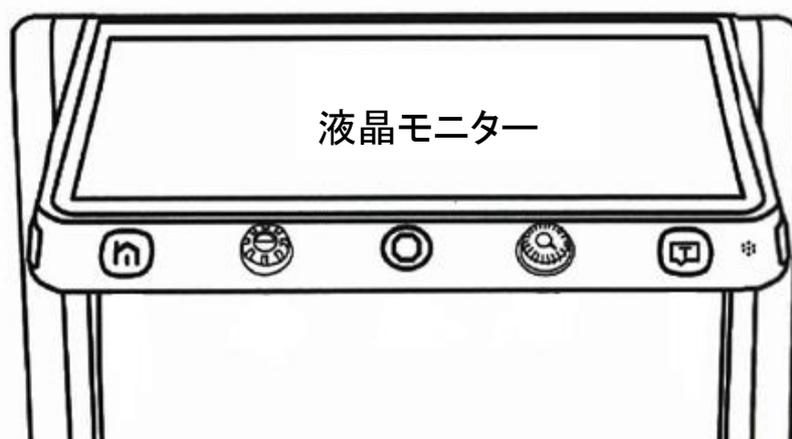
自分で修理しないでください。権限なしに修理を行うと、製品保証が適

用されなくなります。修理の際は販売店へご連絡ください。



充電する際は、必ず付属の AC アダプターをご使用ください。

液晶モニターに関するご注意



液晶モニターは、衝撃、圧迫、落下などで強い力が加わると割れることがあります。取り扱いには十分ご注意ください。なお、上記の原因による割れやキズは、保証期間中でも有償修理となります。

また、液晶モニターが割れた場合は、指の怪我に注意いただき、もし、モニター一部から液体が漏れ出ている場合には、絶対に触らないようにしてください。液晶モニターの周囲のフレームに強い力が加わった場合でも、液晶モニターが割れることがありますので、ご注意ください。

また、本機の液晶モニターはタッチパネルになっています。タッチパネルは指で操作しますが、爪では反応しませんのでご了承ください。

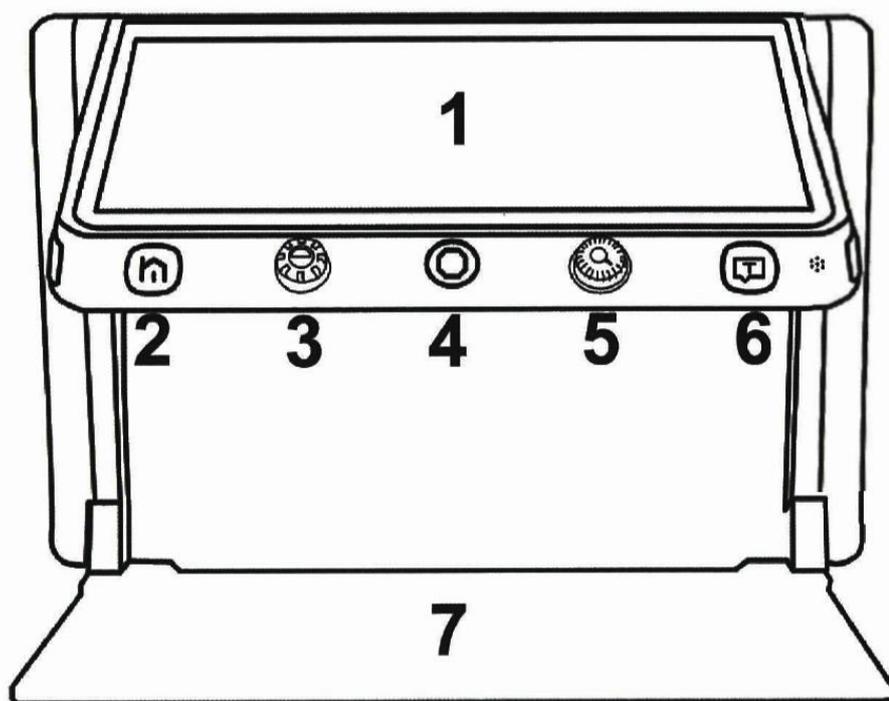
タッチペンでの操作は推奨しておりません。

市販の画面保護シートを貼られた場合、誤動作や操作できないなどの可能性があるので、ご注意ください。

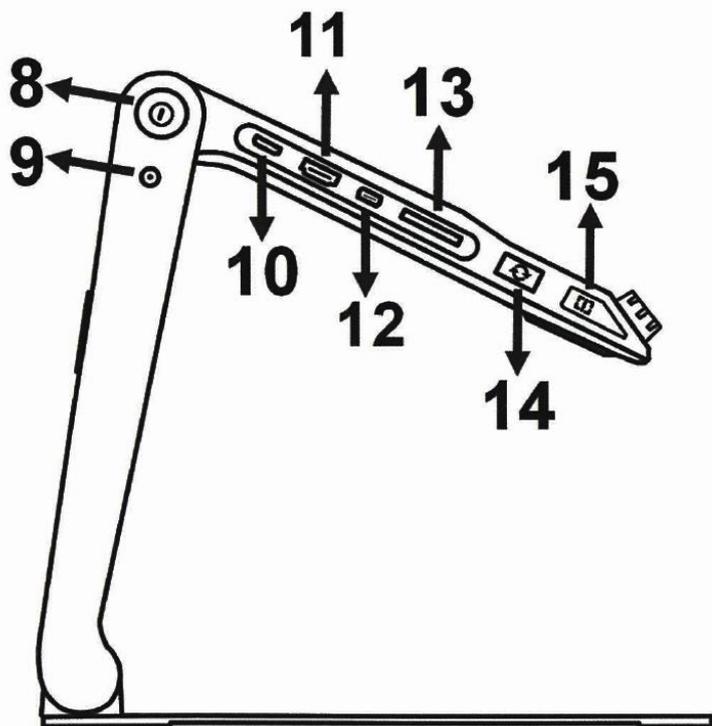
本機の画面や指に極端な汚れがある場合、画面にタッチしても反応しない場合があります。

光沢のある原稿を見る場合、本機の照明が反射し、画面に移りこむ場合があります。

各部の名称



1. 液晶モニター
2. メニュー／戻るボタン
3. モードボタン
4. 操作レバー
5. 拡大／縮小ボタン
6. 音声読み上げ／確定ボタン
7. テーブル



8. 電源ボタン(電源ランプ)

9. A C アダプター差込口

10. HDMI 入力差込口(HDMI ミニ)

11. HDMI 出力差込口(HDMI タイプ A)

12. USB 差込口(USB タイプ C)

13. SD カード差込口

14. 切り替えボタン

15. ライン／マスクボタン

16. イヤフォン差込口

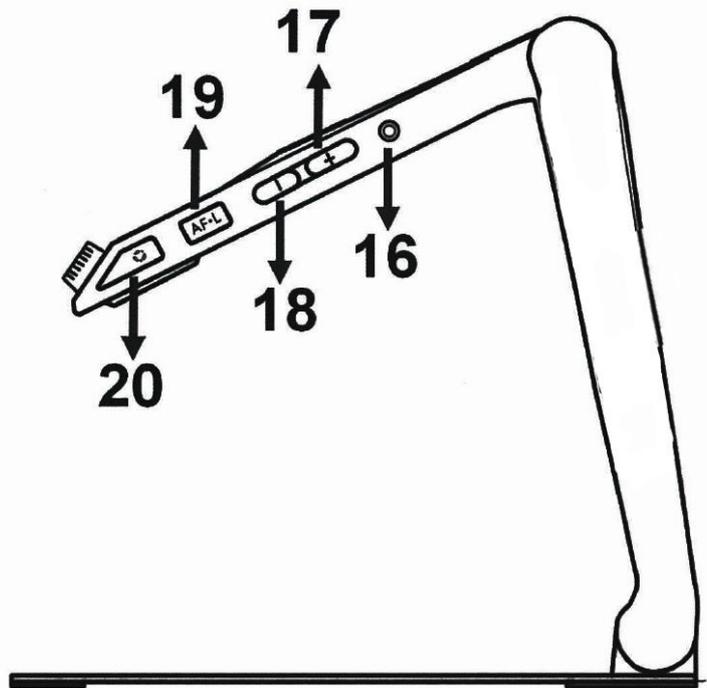
※イヤフォン使用時は音量に注意
してください

17. 音量(+)ボタン

18. 音量(-)ボタン

19. 焦点固定ボタン

20. 静止画シャッターボタン



21. スピーカー

22. 持ち手ハンドル

23. バッテリーユニット

24. バッテリーロック解除

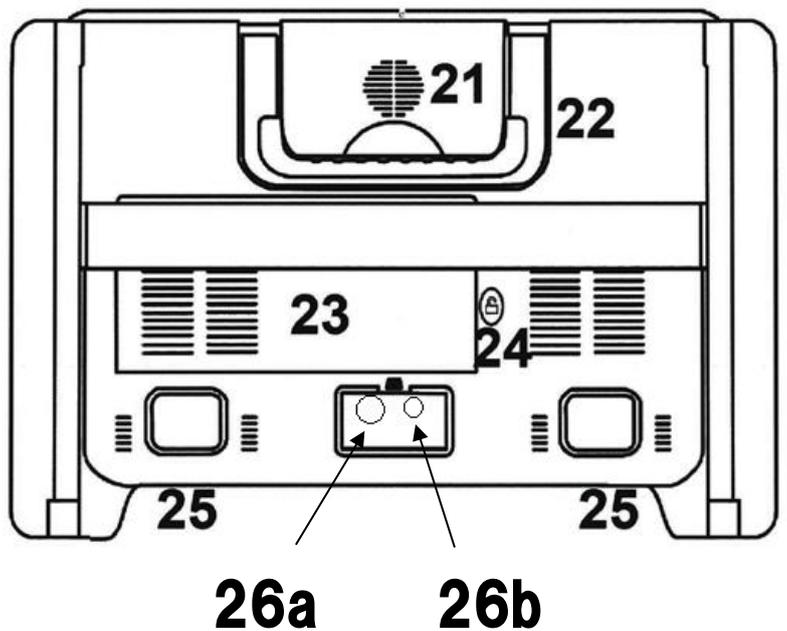
ボタン

25. LED ライト(左右 2 か所)

※LED ライトは使用中に高温になるので注意

26a. 読書カメラ

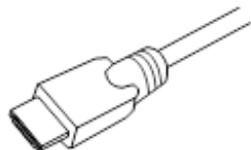
26b. A4 カメラ



付属品



AC アダプター



HDMI ケーブル



遮光カバー



専用ケース

(専用ケースの外ポケットに入っています)



クリーニング

クロス

(専用ケースの外ポケットに入っています)



専用ケース用

ストラップ



取扱説明書、簡単マニュアル(使用準備)、テキスト読み上げ 確認用サンプル、保証書・ユーザー登録用紙

使用準備

手順1

机上等の平らな面に本機のテーブルを下側、持ち手ハンドルを上側にして置き、持ち手ハンドルの下付近(下記写真○部)のテーブルを押さえながら持ち手ハンドルを引き上げます。

※後に説明します遮光カバーを取り付けて使用する場合は、遮光カバーの端を少し持ち上げてハンドルを出してから引き上げを行ってください。



遮光カバー



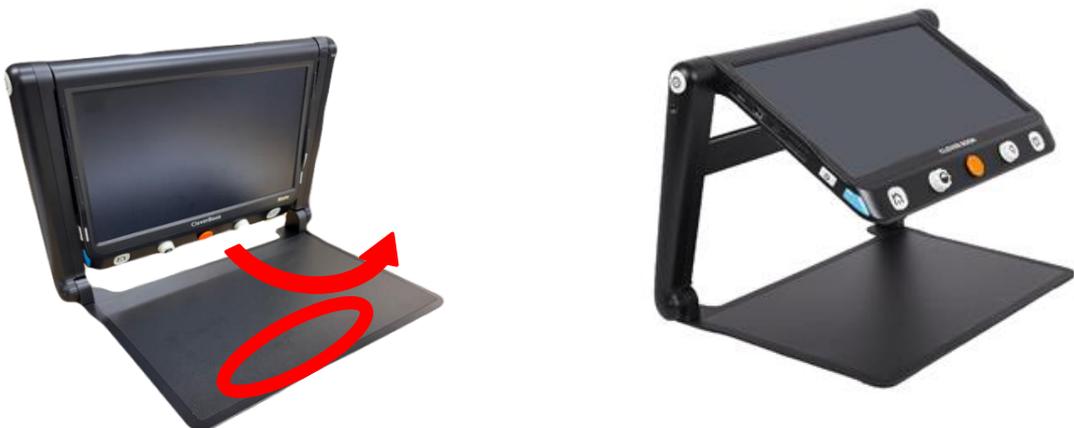
手順2

持ち手ハンドルを引き上げると左右のアームが持ち上がり、液晶モニターが見えてきます。横から見てアームがテーブルに対して直角手前ぐらいになるところまで、(手順3の液晶モニターが引き出せるくらいのスペースができるくらい十分に)引き上げます。



手順3

持ち手ハンドルを戻し、テーブルを押しえたまま液晶モニターを見やすい角度に引き上げて調整します。(微調整は電源投入後でも可能です。)



◆遮光カバーの取付け

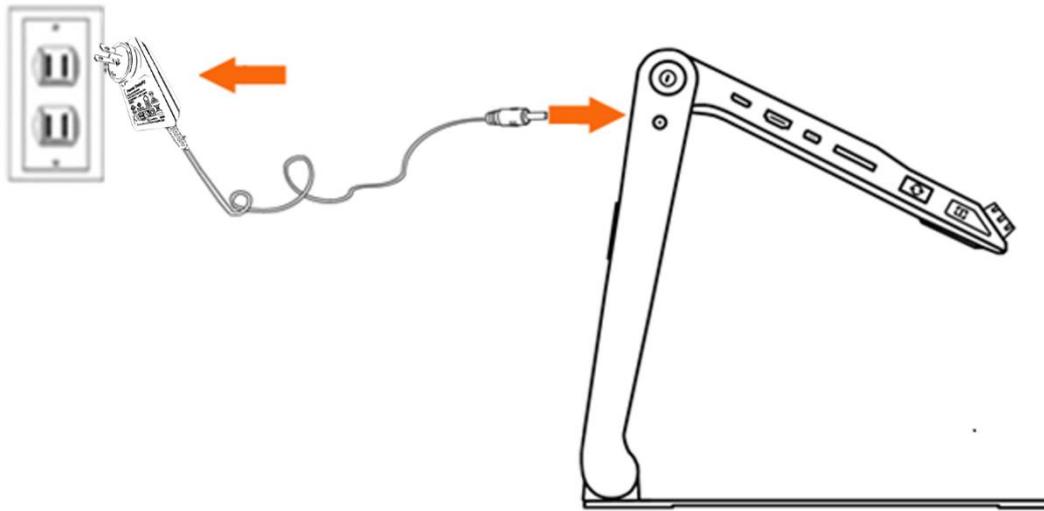
使用中に周囲の人達が照明の光を眩しく感じる場合は、付属の遮光カバーを取り付けることができます。両面テープの保護シートを剥がし、下記のように、本機の背面側に遮光カバーを貼り付けて使用します。

※遮光カバーに上下の方向はありません。



充電方法

付属の AC アダプターを本機の AC アダプター差込口に接続し、プラグをコンセントに接続すると、充電を開始し、電源ランプが緑色に点灯します。



注意: 充電には必ず付属の AC アダプターを使用してください。他の AC アダプターは、バッテリーや本機を傷める可能性があり、最悪の場合発火する危険性があります。

充電中は、ACアダプターのケーブルが引っ張られるなどの負担がかからないようにご注意ください。ケーブルの断線や本機のACアダプター差込口の破損に繋がります。また、本機からACアダプターを外す際は、プラグの根本を持って抜いてください。

充電しながらの使用も可能ですが、充電しながらの使用を繰り返すことで、バッテリーに負担がかかり、バッテリーの寿命が短くなることが予想されます。

また、使用中に AC アダプターのコードが引っ張られての断線や AC アダプター差込口の破損などの可能性が考えられますので、使用時は AC アダプターを外しての使用をおすすめいたします。

電源ランプ

電源がオフの状態では充電すると、電源ランプは緑色に点灯し、充電が完了すると、自動的に消灯します。フル充電には約3時間かかります。連続使用時間は約4～5時間です。

電源がオンの状態で充電しても、電源ランプは緑色に点灯します。

電源がオンで充電をしていない状態では、バッテリーの残量が十分あるときは緑色に点灯し、残量が少なくなると赤色に変わります。

省電力機能の待機モード中は、電源ランプは黄色に点灯します。

操作方法

電源ボタン

電源をオンにするには、電源ボタン  を約3秒間長押しします。約10秒後に振動して映像が映ります。

電源がオンの状態で電源ボタン  を押すと、バッテリーの残量を確認することができます。静止画、画像を再生している時は、バッテリーの残量確認に加え、画面の再生状態も確認することができます。

電源をオフにするには、電源ボタン  を約3秒間長押しすると振動がして電源が切れます。

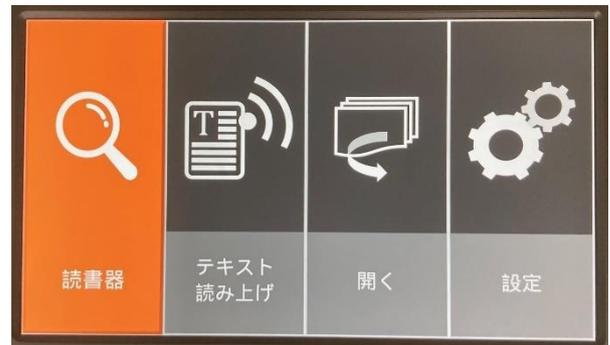
省電力機能の待機モード中に電源ボタン  を押すと、待機モードから復帰します。

注意:本機を完全にたたむと、電源は自動的にオフになります。この時、折りたたんでから電源が切れるまでに約3秒かかります。本機の照明が直接目に入る可能性があるため、付属の遮光カバーを使用されることをおすすめします。

メニュー／戻るボタン

メニュー／戻るボタン  を約2秒間長押しすると、メニュー画面が開きます。

メニューには、読書器（読書カメラ/A4カメラ使用）、テキスト読み上げ（撮影した文



書や文章の読み上げ)、開く（保存画像を開くなど）、設定（色の組み合わせなど）、の4つのメニュー項目があります。各項目のアイコンをタッチ、または操作レバー  で選択し、音声読み上げ／確定ボタン  を押します。

メニュー／戻るボタン  は操作バーを表示する機能もあり、読書器（読書カメラなど使用）やテキスト読み上げ中、または保存画像の再生中に短く押すと、画面下部に操作バーが表示されます。上記以外で、メニュー／戻るボタン  を短く押すと、前の画面に戻ります。操作バーは、指先を画面の一番下から上にスライドするスライド操作をすることでも表示することができます。

操作バーを閉じるには、10秒間何も操作しないか、メニュー／戻るボタン  を短く押す、もしくは操作バー以外の画面をタッチすると、操作バーが閉じます。

注意：操作バーが表示中は、カラー、拡大、その他の機能が使用できない場合があります。

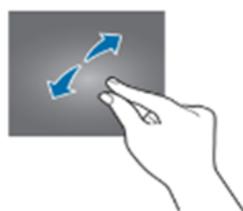
拡大・縮小

拡大／縮小ボタン  を時計回りに回すと、拡大します。

拡大／縮小ボタン  を反時計回りに回すと、縮小します。

拡大／縮小ボタン  の操作に加え、画面に2本の指を乗せ、2本の指の間を広げるように動かすと、拡大します(ピンチアウト)。その反対に、2本指で間を狭めるように動かすと、縮小します(ピンチイン)。

読書モードの場合、拡大倍率は1.5～60倍です。



ピンチアウト



ピンチイン

スクロール

拡大表示中は、指で画面にタッチしたまま指を動かすことでスクロールする、または操作レバー  を上下左右に動かし、用紙を動かすことなく画像内を移動して見ることができます。

※高倍率で映像の中心付近から上下左右に向かってスクロールを行うと、ピントが甘くなっていきますが、これはカメラの限界まで広く映像を映している為です。また、スクロール中に速度が若干変わる場合がありますが、これはカメラの性能上のものであり、故障ではありません。

◆操作レバー使用時のスクロール速度の変更

操作レバー  使用時のスクロール速度の変更ができます。

操作レバー  を任意の方向に押し、拡大／縮小ボタン  を回すと、スクロール速度バーが表示され、回し続けるとスクロール速度を変更することができます。また、画面上でバーの速度アイコン  をスライドする事でも速度を変更することができます。



終了するには、5秒間何も操作しない、メニュー／戻るボタン  を短く押す、音声読み上げ／確定ボタン  を押す、もしくは画面上の何も無い箇所をタッチします。

◆画像の位置

画面の中心を素早く2回タッチする、または操作レバー  を任意の方向に押しながら拡大／縮小ボタン  を押すと、画像の中心に戻ります。

画面の上下左右各辺のいずれかの中央付近を素早く2回タッチする、または操作レバー  を同一方向に2回素早く押すと、各辺の端にジャンプします。

明るさ調整

読書器(読書カメラ)使用時にメニュー／戻るボタン  を短く押すか、画面の一番下から上に指をスライドし、操作バーを表示させます。

操作バー内、右側の明るさ調整バーをタッチするか、操作レバー  を使って選択します。



明るさ調整バーの明るさアイコン  をスライドするか、明るさ調整バー選択後、拡大／縮小ボタン  を回しても明るさを調整する事ができます。

終了するには、10秒間何も操作しないか、メニュー／戻るボタン  を短く押す、もしくは操作バー以外の画面をタッチすると、操作バーが閉じます。

カラーモード

フルカラーモードは写真や地図の表示に適しています。ハイコントラストモードは前景色と背景色が異なり、文字を鮮明に読むことができます。ハイコントラストモードはあらかじめ組み合わされた所定の色になります。

モードボタン  を回すと、色の組み合わせが順に表示されます。標準のハイコントラストは黒背景に白文字、白背景に黒文字、黒背景に黄文字になります。

モードボタン  を押す度に、フルカラーモードと最後に使用したハイコントラストモードが切り替わります。

◆お好みカラー選択

モードボタン  を約3秒間長押しすると、お好みカラー選択の色の組み合わせを変更する設定画面になります。設定を変更するには、選択したい色の組み合わせをタッチするか、操作レバー  で選択し、音声読み上げ／確定ボタン  を押します。

ハイコントラストモード一覧(16種類の色の組み合わせ)は以下の通りです。

 黒背景に白文字

 白背景に黒文字

 黒背景に黄文字

 黄背景に黒文字

 青背景に白文字

 白背景に青文字

 青背景に黄文字

 黄背景に青文字

 黒背景に緑文字

 緑背景に黒文字

 黒背景に紫文字

 紫背景に黒文字

 黒背景に青文字

 青背景に黒文字

 赤背景に白文字

 黒背景に赤文字

※ハイコントラストモードは、最低でも1種類は選択する必要があります。

戻るアイコン  をタッチする、またはメニュー／戻るボタン  を押すと、お好みカラー選択を終了します。

参考:お好みカラー選択は設定メニューからも操作することができます。

コントラスト

通常、コントラストの比率は適切に調整されますが、手動で更に調整することもできます。

モードボタン  を押しながら拡大／縮小ボタン  を回すと、コントラスト調整バーが表示され、拡大／縮小ボタン  を回し続けると、文字色と背景色のコントラストを調整することができます。画面上で調整バーのコントラストアイコン  をスライドする事でもコントラストを調整することができます。

調整バーは、ハイコントラストモード、フルカラーモードでそれぞれ異なります。



ハイコントラストモードの調整バー



フルカラーモードの調整バー

注意：モードボタン  を押してから約3秒以内に拡大／縮小ボタン  を回さないと、色の組み合わせを変更する設定画面になります。

終了するには、5秒間何も操作しない、メニュー／戻るボタン  を短く押す、音声読み上げ／確定ボタン  を押す、もしくは画面上の何も無い箇所をタッチします。

コントラスト調整は以下の2種類のコントラストモードグループに分かれ、それぞれ調整可能です。一方のコントラストモードグループで調整したコントラストは、もう一方のグループには反映されませんので、ご注意ください。

コントラストモードグループについては、以下を参照してください。

- コントラストモードグループ①

背景が黒か青か赤の場合。

黒背景に白文字、黒背景に黄文字、青背景に白文字、青背景に黄文字、黒背景に緑文字、黒背景に紫文字、黒背景に青文字、赤背景に白文字、黒背景に赤文字。

- コントラストモードグループ②

文字が黒か青の場合。

白背景に黒文字、黄背景に黒文字、白背景に青文字、黄背景に青文字、緑背景に黒文字、紫背景に黒文字、青背景に黒文字。

※ 青背景に黒文字については、コントラストモードグループ②に入ります。

照明(LED ライト)

照明(LED ライト)は、使用状況に応じて自動でオン／オフする設定になっています。読書器(読書カメラ)使用時は全ての照明が点灯し、手動での消灯や左右個別の制御も可能です。また、筆記などをする場合には左右それぞれを点灯／消灯することもできます。

読書器(A4 カメラ)使用時の照明は、左右の同時オン／オフのみ可能で、左右それぞれのオン／オフはできません。

読書器(読書カメラ)使用時にメニュー／戻るボタン  を短く押すか、画面の一番下から上に指をスライドし、操作バーを表示させます。

アイコンをタッチする、又は操作レバー  を使ってアイコンを選択し、音声読み上げ／確定ボタン  を押して照明を設定します。読み上げ／確定ボタン  を押す度に設定を変更できます。



終了するには、10秒間何も操作しない、メニュー／戻るボタン  を短く押す、もしくは画面上の何も無い箇所をタッチします。

読書器(A4 カメラ)使用時は、画面の右上にアイコンが表示され、消灯、点灯の設定は、アイコンをタッチして行います。



音量の調整

操作音、音声ガイド、音声ラベル、テキスト読み上げの音量は、本機右側面にある音量(+)ボタンまたは音量(-)ボタンを押して調整します。音量調整バーが表示中は、画面上で音量調整バーの音量アイコンをスライドする事でも音量調整ができます。

操作音/音声ガイド/音声ラベルのこの3つの音量は、同期して調整されますが、テキスト読み上げの音量だけは、別で調整できます。表示される調整バーも下記のように異なります。※音声ラベルについては、調整バーは表示されません。



操作音/音声ガイドの音量調整バー



テキスト読み上げの音量調整バー

画像の静止

読書器(読書カメラ)使用時に、じっくり見たり読みたい時には、画像を静止することができます。静止画は拡大、縮小、カラーモードが変更でき、見やすく調整することができます。

画像を静止または解除するには、静止画シャッターボタン  を押します。

注意: 静止画シャッターボタン  は押したらすぐに指を放してください。長押しをすると反応しない場合や、画像の保存画面になる場合があります。

静止画を拡大すると、指で画面にタッチしたまま、指を動かす、又は、操作レバー  を上下左右に動かすと、スクロールすることができます。

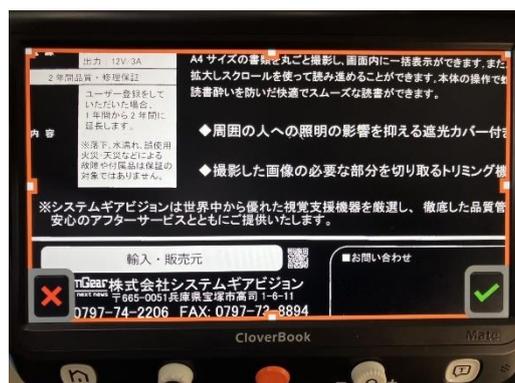
尚、読書器(A4 カメラ)使用時でも画像を静止することができますが、詳しい内容は、「A4 サイズの撮影」に記載していますのでそちらを参照してください。

画像の保存、切り抜き保存、音声ラベルを付けて保存

保存には、撮影した画像をそのまま保存する方法と、撮影した画像の一部を切り抜いて保存する方法の2種類の方法があります。切り抜いて保存を行っても切り抜き前の画像を見ることはできますが、保存後には、画像の切り抜きはできません。切り抜きを行う場合は、保存前に行ってください。また、保存直後に画像に音声ラベルを付けて保存することもできます。

画像を保存するには、読書器(読書カメラ)使用時に静止画シャッターボタン  を約3秒間長押しするか、静止画にした後、再度静止画シャッターボタン  を約3秒間長押しします。その後、画像の切り抜き範囲を選択の確認画面が表示され、画面の4辺にオレンジのラインと左下にアイコン 、右下にアイコン  が表示されます。この状態で、画像の切り抜きをするかしないかでその後の操作方法が変わります。各保存方法の操作は以下の通りです。

画像の切り抜き範囲を選択の画面



尚、読書器(A4カメラ)使用時でも画像を保存することができますが、詳しい内容は、「A4サイズの撮影」に記載していますのでそちらを参照してください。

◆撮影した画像をそのまま保存する方法

アイコンをタッチするか、音声読み上げ／確定ボタンを押すと、画像保存の確認アイコンが約3秒間表示されます。その後、自動的に画像が保存され、保存されたアイコンが約3秒間表示された後、画面は静止画に戻ります。自動保存以外に保存アイコンをタッチするか、または音声読み上げ／確定ボタンを押すことでも画像の保存ができます。

※設定にて、画像の切り抜きを無効にしている場合は、画像の切り抜き範囲を選択の画面を出さずに静止画シャッターボタンを約3秒間長押しするだけで保存することができます。

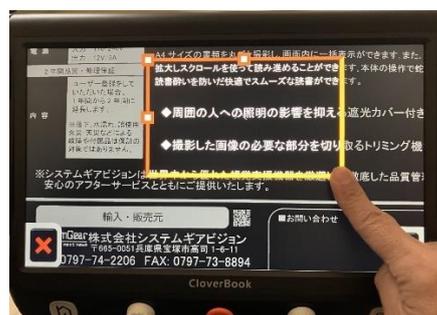
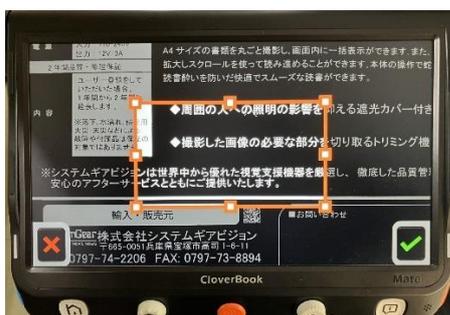
撮影した画像の保存をキャンセルする場合は、画像の切り抜き範囲を選択画面で、アイコンをタッチするか、メニュー／戻るボタンを押すと、保存をキャンセルし静止画に戻ります。

また、アイコンをタッチするか、音声読み上げ／確定ボタンを押し、画像保存の確認アイコンが表示されている間に、戻るアイコンをタッチするか、メニュー／戻るボタンを押しても、保存をキャンセルし、静止画に戻ります。

画像の保存後やキャンセル後の画面は、静止画となり、解除するには静止画シャッターボタン  を押します。

◆撮影した画像の一部を切り抜いて保存する方法

画像の切り抜き範囲を選択画面表示後、拡大／縮小ボタン  を回して切り抜く大きさ、操作レバー  で切り抜く位置を調整します。また、オレンジラインもしくはラインの角に指をタッチしたままスクロールすることで切り抜く大きさ、切り抜く中心付近にタッチしてスクロールすると、オレンジライン全体を動かして切り抜く位置を移動することもできます。



※拡大／縮小ボタン  を回しての切り抜く大きさの調整は、縦横の比率が画面の大きさと比例したままになります。任意の大きさに切り抜く場合は、指でのスクロールし変更してください。また、画面上での切り抜く範囲の最小は、オレンジラインで囲まれた縦約3cm、横約5cmとなり、それより小さく切り抜くことはできません。

切り抜き範囲が決まったら保存を行います。保存方法は「撮影した画像をそのまま保存する方法」と同じですので、そちらの項目を参照してください。

◆撮影した画像に音声ラベルを取り付ける

初期設定では、音声ラベル設定が無効になっています。この機能を利用するには、まず、設定を有効にする必要があります。設定変更については、「設定メニュー」の「音声ラベル」を参照してください。

音声ラベルの設定が有効になっている場合、保存されたアイコン  の後に録音アイコン  が表示されます。左のマイクアイコン  を長押しすると録音を開始し、録音中のアイコン  になりますので、押したまま録音をしてください。録音中のアイコン  を放すと、録音が終了します。録音アイコン  表示中に、音声読み上げ／確定ボタン  を長押ししても録音することができます。

録音アイコン  は約5秒間表示されます。5秒間何も操作しないか、メニュー／戻るボタン  を押すと、画像に音声ラベルを取り付けずに保存され、静止画に戻ります。

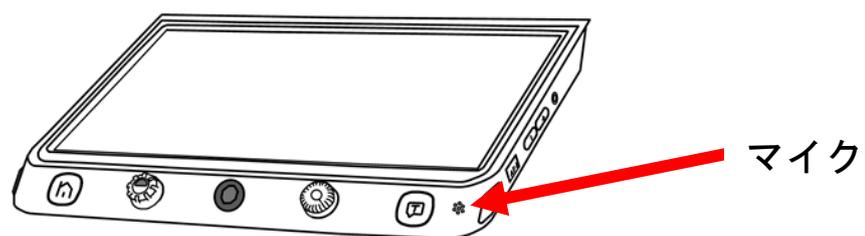
長押ししている間は、録音中のアイコンが表示されますが、録音時間としては長押しをしてから最長約15秒間となります。

録音した音声ラベルの内容を確認するには、右の再生アイコンをタッチするか、拡大／縮小ボタンを短く押します。

※録音後は、約3秒で音声ラベルが確定し保存されてしまいます。録音確認の再生や録音し直す場合は、約3秒以内に行ってください。尚、保存後は、録音のし直しや音声ラベルだけを削除する事は出来ません。

録音し直すには録音アイコン表示中に、もう一度マイクアイコンを押します。録音は、上書きされますので、ご注意ください。

※良質な音声で録音するためには、画面の右下にあるマイクに近づいて話してください。



画像は本体メモリー内の「画像」に保存されます。保存した画像を見るには「保存ファイルの再生、転送、削除について」を参照してください。

注意：保存した画像の容量が最大容量（2.7GB、例：読書カメラで撮影約200枚、又は、A4 カメラで撮影約160枚）に達すると、容量不足アイコン  が表示されます。再生モードで、以前に保存した画像などをいくつか削除してから保存してください。

※保存した画像ファイルの消失について

取り扱い上の不備や本機の故障、あるいは修理によって、本機に保存された画像ファイルが消失することがあります。保存された画像ファイルの消失による障害については、販売店、販売元および製造元は責任を負いかねますので、予めご了承ください。

必要な画像ファイルは定期的に SD カードにバックアップを取っていただくことをお勧めいたします。SD カードへのバックアップについては、「SD カードに転送する」の項目を参照してください。

ラインとマスク

ライン／マスクボタン  を押すと、ライン又は、マスク機能が使用できます。
ライン／マスクボタン  を押す度にラインやマスクに切り替わります。

ラインは、ライン表示後、ライン／マスクボタン  を押しながら、モードボタン  を回すと、ラインの色を変更することができます。色はラインの時のみ変更が可能で、マスクの色は変更できません。

ラインの色は、赤、青、黄、緑、紫、グレーの6色に変更可能です。

● 横ライン

ライン／マスクボタン  を押しながら、操作レバー  を上下に動かすと横ラインの位置を、操作レバー  を左右に動かすとライン幅を変更できます。

● 縦ライン

ライン／マスクボタン  を押しながら、操作レバー  を左右に動かすと縦ラインの位置を、操作レバー  を上下に動かすとライン幅を変更できます。

- 横マスク

ライン／マスクボタン  を押しながら、操作レバー  を上下に動かすとマスクの位置を、操作レバー  を左右に動かすとマスク幅を変更できます。

- 縦マスク

ライン／マスクボタン  を押しながら、操作レバー  を左右に動かすとマスクの位置を、操作レバー  を上下に動かすとマスク幅を変更できます。

位置表示

位置表示機能を使うと、画面が一時的に最小倍率で表示されるため、見たい箇所を探すのに便利です。

拡大表示中に拡大／縮小ボタン  を短く押すと、画像は現在の倍率から最小の倍率となり、拡大された画像の位置を表す位置ボックスが表示されます。

位置ボックスは、画面上のボックス内を指を使ってスクロールする、または操作レバー  を使って移動させることができますので、拡大したい箇所を探ることが出来ます。

拡大／縮小ボタン  を素早く回すと、ボックスは元に位置に戻ります。操作レバー  をいずれかの方向に押し、拡大／縮小ボタン  を押すと、ボックスは画面の中心に移動します。

もう一度拡大／縮小ボタン  を短く押す、またはボックスを素早く2回タッチすると、ボックス内の画像が以前の倍率で拡大表示されます。

オートフォーカスについて

オートフォーカスは自動で機能しますが、正しく機能せずフォーカスが合っていない場合には、以下の方法で強制的にフォーカスを合わせることができます。

画面を2秒間長押しする、または焦点固定ボタン  を2秒間長押しすると、フォーカスを合わせることができます。

※A4 カメラについては、カメラから約12～18cmまでフォーカスできる固定フォーカスになる為、フォーカス合わせをする必要はありません。

焦点固定／解除

焦点固定ボタン  を押すと、画面の四隅に  が表示され、フォーカスが固定されます。この機能は特に筆記の際に手にフォーカスが合わずに、ペン先にフォーカスを固定する時などに便利です。

もう一度焦点固定ボタン  を押すと、焦点固定が解除されます。

※A4カメラでは、焦点固定を使用することはできません。

A4サイズの撮影

A4サイズの内紙全体を撮影できる機能です。静止画や画像保存を行えば、拡大、カラーモード変更、拡大時のスクロールができます。

読書器(読書カメラ)使用時、メニュー/戻るボタン  を押す、またはスライド操作で、操作バーを表示させて  アイコンをタッチする、または切り替えボタン  を約2秒間長押しすると、A4サイズの撮影表示になります。

A4全体を撮影するには、原稿を横長に置く必要があります。液晶モニターの角度によっては撮影範囲に入らない場合がある為、本体アームの角度や液晶モニターの高さをA4全体が撮影範囲に入れるように調整してください。本体アームの角度を垂直に近づけると、撮影範囲に入りやすくなります。

静止画シャッターアイコン  をタッチする、または静止画シャッターボタン  を押すと、静止画になります。

静止画を解除するには、メニュー/戻るボタン  を2秒間長押しする、または操作バーを表示し、戻るアイコン  をタッチします。

A4サイズの撮影を終了するには、再度戻るアイコン  をタッチします。

A4サイズの撮影では、文字の方向を自動認識し、正面から文字が読める方向に画像を自動回転する機能が備わっています。撮影する原稿や環境等によっては、自動回転が正常に機能しない場合があります。そのような場合には、静止画シャッターボタン  を押して画像を回転させます。押す度に 90° ずつ回転します。また、スライド操作で操作バーの回転アイコン  を表示し、回転アイコン  にタッチすることで画像の向きを変更する事も出来ます。

A4サイズの撮影を保存するには、静止画にしてから、静止画シャッターボタン  を約3秒間長押しすると、画像の切り抜き範囲を選択の画面を表示し、保存する事が出来ます。画像の切り抜き範囲を選択の画面表示以降の保存方法や、画像の切り抜き方法については、「撮影した画像のまま保存する方法」、「撮影した画像の一部を切り抜いて保存する方法」の項目を参照してください。

画像の保存後は、静止画に戻ります。

テキスト読み上げ

この機能は、撮影した画像の文字を音声で読み上げる機能です。読み上げる範囲は A4 サイズまで対応しています。

「テキスト読み上げ」を起動するには、2つの方法があります。一つ目は、読書器（読書カメラ）使用時に音声読み上げ／確定ボタン  を押して起動する方法。二つ目は、メニュー／戻るボタン  を約2秒間長押しし、メニューを表示させ、「テキスト読み上げ」を選択する方法があります。起動後、読み上げをキャンセルする場合は、戻るアイコン  をタッチしてください。

上記のどちらかの方法で「テキスト読み上げ」を起動し、テーブルの上に原稿を置き、原稿全体が画面の撮影範囲の長方形のオレンジの枠内にある事を確認してください。A4 サイズの場合、液晶モニターなどの角度によっては A4 サイズ全体が撮影範囲に入らない場合がありますので、本体のアームの角度や液晶モニターの角度を調整し、原稿が範囲内に入るように調整してください。

原稿全体が撮影範囲内に収まることが確認できたら、画面の右下にある音声読み上げアイコン 、または音声読み上げ／確定ボタン  を押すと、

「ページ全体のテキストを音声に変換」の音声ガイドで流れ画像を撮影し、原稿内の文字の認識を始めます。アイコンが消えるまでお待ちください。

本機は文字の向きを自動で認識し、正しい向きに回転させる機能がついていますが、撮影する原稿や環境等により、自動回転が正常に機能しない場合があります。その場合は正常に読み上げる事ができません。撮影範囲内の文字が少ない場合などに正しい向きに回転しない場合があります。そのような場合は、テキスト読み上げ画像を保存し、再生時に正常な方向に回転してから読み上げを行って下さい。原稿に対して文字が斜めに配置している場合やデザインされた文字が含まれている場合などは、回転を行っても文字が正常な方向に回転しないことがありますので、ご了承ください。

保存については、「テキスト読み上げの保存」を参照してください。

読み上げを停止してテキスト読み上げ画面に戻るには、メニュー／戻るボタンを押すと操作バーが表示しますので、左端の戻るアイコンをタッチします。文字数の多い原稿は、戻るアイコンが使用できるまで少し時間が掛かります。テキスト読み上げ画面を終了するには、左上の戻るアイコンをタッチします。

参考:読み上げ時の撮影範囲は、原稿の紙の大きさに関わらず、読み上げがより安定する A4 サイズが入る範囲に調整してから読み上げを行う事をお勧めいたします。なお、文字の鮮明さなどの環境の影響により、数文字程度の変換ミスや読み間違いは起こりえます。本機は、通常の活字文書や文章に特化しており、デザインされた文字、表形式のものやレシート、通帳などは思うようには読み上げできません。読み上げたい原稿を何度読ませても、意味が分からない読み方をする場合は、付属の「テキスト読み上げ確認用サンプル」を読み上げて正常に読み上げるのかの確認をしてください。

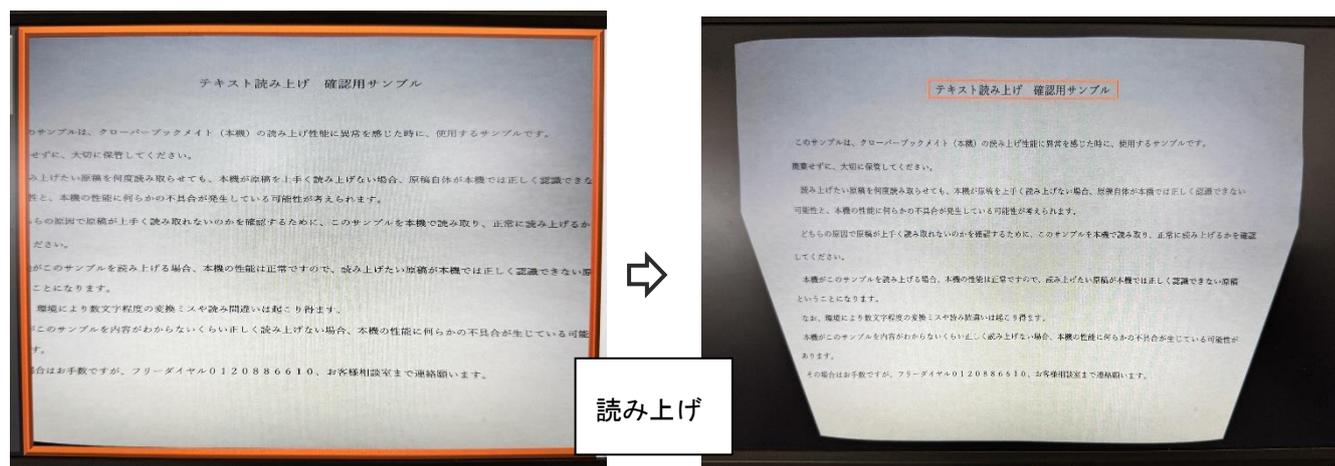
名刺などの大きさを背景が白の紙を読み上げる場合は、照明の反射で白飛びが発生し、文字が消えたようになることがあります。そのような場合は、本機の照明を消す、あるいは、名刺などの下に A4 サイズ程度の白い紙を敷いてから読み上げを行うと改善される場合があります。

本などを読み上げる場合は、できるだけ谷間を小さくしてください。

注1:撮影範囲内に原稿を置きますが、読み上げを実行すると、撮影範囲内より広く認識しますので、本機の周囲に別の原稿等を置いていると、その内容も読み上げたり、認識精度に影響する場合がありますので注意してください。また、カメラが原稿に近いと、認識した時に画像の端が欠けたように撮影され

ます。これは読み上げ機能の仕様によるものですのでご了承ください。保存時
も同じ画像が保存されます。

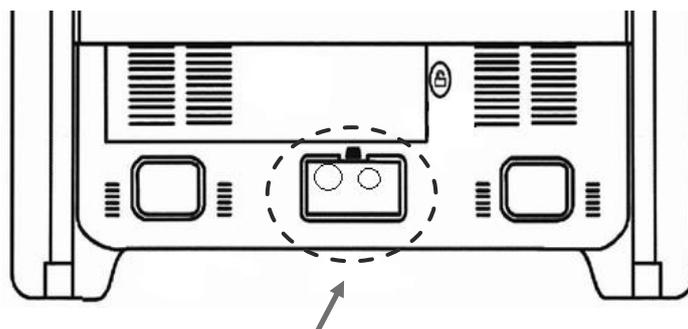
撮影範囲及び画像の端が欠ける例



カメラが原稿に近いと、読み上げ実行前は撮影範囲内に原稿が収まっていな
いが、読み上げを行うと原稿の文字全てが収まり、認識範囲が広いことが分
かります。また、撮影画像の端が欠けたようになります。

原稿を逆さまに置いている場合や横向きに置いている場合は、撮影画像が
自動回転の影響で上側が欠けている場合や横側が欠けているような画像に
なります。

注2:カメラ部が汚れていると、読み上げ精度に影響する場合がありますので、カメラ部は、極力触らないように注意してください。汚れている場合は、付属のクリーニングクロスでやさしく拭き取ってください。



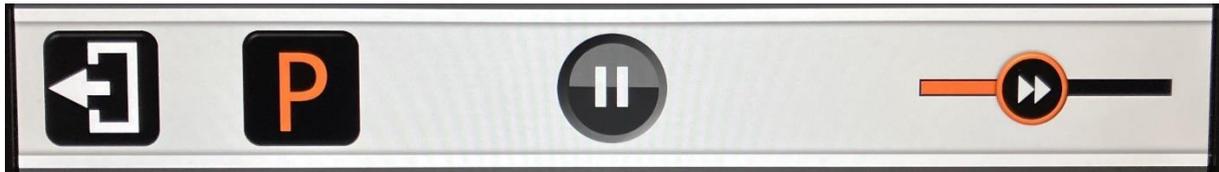
カメラ部

注3:傾き補正を無効にして読み上げを行うと、読み上げ精度に影響が出ますので、読み上げ時は有効にて使用してください。初期設定では、有効になっています。傾き補正については、基本設定ページのメニューを参照してください。

◆テキスト読み上げ時の操作バー及びその他の操作

読み上げ操作後、ページ全体のテキストを音声に変換の操作バーが画面の下部に表示されます。それぞれのアイコンについて詳しく説明します。

操作バーの表示後、約 10 秒で操作バーが消えますが、メニュー／戻るボタン  を押すと操作バーを表示します。



一番左にあるアイコンは、戻るアイコンで前の操作に戻ります。左から2番目にあるアイコンは、pdf モードと、テキストモードを切り替える為のアイコンです。撮影された内容を画像のまま表示する pdf モード、アイコンをタッチすると、テキストで表示するテキストモードに切り替えることができます。読み上げ直後は、pdf モードになります。

左側面の切り替えボタンを押すことでも、pdf モードとテキストモードを切り替えることができます。

真ん中のアイコンは、一時停止アイコンで、再生中にタッチすれば、再生が停止し、アイコンが再生アイコンに変わります。再生を再開する場合は、再生アイコンをタッチします。音声読み上げ／確定ボタンを押すことでも、再生および一時停止ができます。

一番右にあるアイコンは、読み上げ速度調整バーです。



画面上で読み上げ速度調整バーの速度アイコンをスライドして調整します。なお、読み上げ速度調整バーですが、速度調整バーが表示されてもすぐには調整できません。読ませる原稿にもよりますが、A4 用紙全体に文字がある場合で、速度調整バーが利用できるまでに 50 秒程度かかります。利用できない状態としては、速度調整バー全体が灰色  がかったようになりますので、この灰色が消え速度調整バーが鮮明になれば調整可能です。速度調整バーは、一度調整を行えば、システムリセットを行わない限り、調整が保持されます。

その他の操作として、操作バーが表示されていない時は、画面上の読みたい行を指で長押しすると、その行から再生ができます。

読み上げ中は、拡大／縮小、拡大中のスクロール、カラーモードの調整も可能です。ただし、pdf モード  では、読み上げ中に少し拡大してスクロールを行っても現在読み上げている行に強制的に戻ってしまいます。さらに大きく拡大している時は、読み上げている行の中心に強制的に戻ります。読み上げ中に拡大して追従を行う場合は、テキストモード  に切り替えてください。

テキストモード  画面の場合、右端にスクロールする為のスクロールバーがあります。このバーは、一時停止中に操作できます。また、一時停止中にテ

キスト画面にタッチしたまま上下にスクロールまたは、操作レバー  で上下にスクロールすることができます。再生中に、読み上げている行は反転し強調されます。

◆テキスト読み上げの保存

テキスト読み上げの画像を保存するには、読み上げ中もしくは、読み上げ後に静止画シャッターボタン  を確認アイコン  が表示されるまで長押しします。確認アイコン  は約3秒間表示されます。

（注：文字数の多い原稿は認識に時間がかかる為、読み上げ直後に保存を行うと確認アイコン  が表示されるまで10秒程度かかる場合があります。）その後、自動的に画像が保存され、保存されたアイコン  が約3秒間表示されます。読み上げ中に保存した場合は、読み上げ停止状態になりますが、音声読み上げ／確定ボタン  を押すと読み上げを再開します。保存された画像は、本体メモリー内の「画像」に保存されます。テキスト読み上げの画像は、切り抜いての保存はできませんが、音声ラベルを付けて保存することができます。音声ラベルを付けての保存は、「撮影した画像に音声ラベルを取り付ける」を参照してください。

保存をキャンセルする場合は、確認アイコン   が表示されている間に、戻るアイコン  をタッチしてください。

注: 色の変更や拡大した状態での保存の操作は可能ですが、実際に保存される画像はフルカラーモードで最小倍率となりますのでご了承ください。また、この後の説明に出てきます画面をテキストで表示するテキストモード  の状態では保存することはできません。保存する時は、pdf モード  にしてから保存してください。

保存した画像を見るには「保存ファイルの再生、転送、削除について」を参照してください。

保存ファイルの再生、転送、削除について

本体メモリーまたは SD カードに保存した画像や文書を閲覧することができます。SD カードを挿入していない場合は、本体メモリーのみを使用となります。

本体メモリー内のファイルを SD カードに転送することや、SD カードに保存された画像、pdf、テキストファイルを転送することができます。また、パソコンを接続し、画像、pdf、テキストファイルを転送することもできます。

保存した画像や文書を閲覧するには、読書器(読書カメラ)使用時にメニュー／戻るボタン  を2秒間長押しし、メニューを表示させます。操作レバー  で「開く」を選択し、音声読み上げ／確定ボタン  を押すか、もしくは、「開く」をタッチするとメモリーの選択画面に入ります。また、切り替えボタン  を短押しする事でメモリーの選択画面に入ることもできます。



メモリーの選択画面から、タッチまたは操作レバー  を左右に動かして本体メモリーか SD カードのどちらを開くか選択します。SD カードが挿入されていない場合は、本体メモリーのみの選択になります。

本体メモリーの中には、「画像」、「パソコンからの画像」、「pdf とテキスト」の3つのフォルダーがあります。SD カードの中には、「画像」、「pdf とテキスト」の2つのフォルダーがあります。

本体メモリー内の3つのフォルダーに保存される内容は下記のようになります。「画像」には、本機の読書器(読書カメラ/A4 カメラ)で撮影され保存した画像、テキスト読み上げで撮影され保存した画像が入ります。「パソコンからの画像」には、パソコンや SD カードから転送された画像、「pdf とテキスト」には、パソコンや SD カードから転送された pdf ファイルやテキストが入ります。

開きたいフォルダーをタッチするか、操作レバー  を上下に動かしてフォルダーを選択し、音声読み上げ／確定ボタン  を押して開きます。

※画像の枚数や、pdf、テキストの総数が増えると、読み込みに時間がかかるため、各フォルダーを開くのに時間がかかる場合があります。

本体メモリー内の「画像」フォルダーの画像一覧表示では、保存時に音声ラベルを付けた画像には音声ラベルアイコン  が付いています。音声ラベルアイコン  をタッチして音声録音を聞くことができます。テキスト読み上げにて保存している場合には、テキストアイコン  が付いています。

テキストアイコンをタッチすると、テキスト表示で開くことができます。撮影した画像部分をタッチすると、通常の画像として開くことができます。

※音声ラベルアイコン、テキストアイコンは、本体メモリー内の「画像」フォルダーのみに表示できる機能となりますので、転送されても SD カード内では、表示する事は出来ません。

※pdf とテキストフォルダーの文書一覧表示において、pdf とテキストの両方のファイルを保存している場合、一覧表示では全てのテキストのファイルが優先(上側に表示)され、pdf ファイルはその後ろに表示されます。

◆保存した画像や文書を再生する

1. 共通操作

画像フォルダーの画像一覧や pdf とテキストフォルダーの文書一覧表示から再生したい画像や文書をタッチして選択し、もう一度タッチすると再生されます。(既に選択されオレンジの四角の枠が付いている画像は1回のタッチ操作で再生されます。)操作レバーの上下操作で開きたい画像や文書を選択し、音声読み上げ/確定ボタンを押して再生することもできます。

画像や文書の一覧において、一度に表示できるのは4つまでですが、保存画像や文書が5つ以上あり、ページを移動したい場合は、操作レバー  を上下に操作するか、画面右側のスライダーをタッチして上下に操作するか、スライダーの上下にある△▽をタッチすると上下に移動できます。

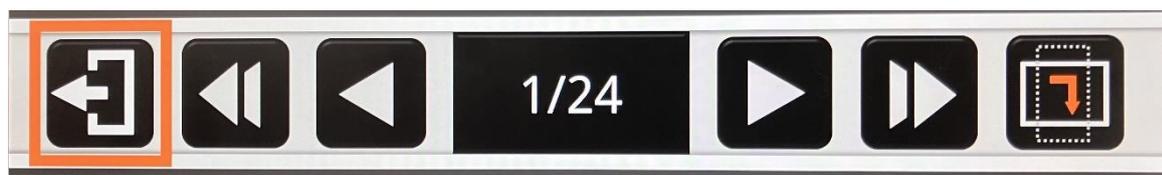
参考: 一覧画面では、切り替えボタン  を短く押すと、読書器(読書カメラ)になります。また、読書器(読書カメラ)では、切り替えボタン  を短く押すと、本体メモリーか、SDカードの選択画面を開くことができます。

再生中にメニュー/戻るボタン  を押して操作バーを表示し、さらに操作することができます。

2.画像再生中にできること及び操作バーでの操作、読み上げ操作

画像再生中は、拡大/縮小の倍率変更(ピンチアウト/ピンチインも可能)、カラーモードの変更、スクロール操作、操作バーでの操作や画像中の文字を読み上げる事もできます。

2-1.操作バーでの操作



操作バーを表示すれば、下記の操作が可能です。別の画像を再生するには、操作バーの◀/▶のアイコンをタッチするか、操作レバー●で◀/▶へ動かして選択し、音声読み上げ/確定ボタン  を押すか、もしくは切り替えボタン  や焦点固定ボタン  を押す方法もあります。

最初または最後の画像に移動するには、◀/▶のアイコンをタッチする、または操作レバー●で◀/▶へ動かして選択し、音声読み上げ/確定ボタン  を押します。

画像を回転するには、回転アイコン  をタッチする、または操作レバー●を動かして音声読み上げ/確定ボタン  を押します。

戻るアイコン  をタッチする、またはメニュー/戻るボタン  を長押しすると、画像の一覧画面に戻ります。

注意：本体メモリーの「画像」の再生について、回転操作を行った画像については、再生終了後、最後の回転状態で保存されます。この仕様は、本体メモリーの「画像」フォルダーのみの仕様となります。

また、本体メモリー内の画像の再生については、保存時に切り抜いて保存されている場合は、操作バーと同時に表示されるアイコンをタッチすると、切り抜き前の画像を確認することができ、アイコンをタッチすると、切り抜き後の画像に戻ります。この切り替えができるのは、本体メモリー内の画像のみで、SD カードに転送された画像は、切り替えることができませんので、ご了承ください。

2-2. 読み上げ操作

画像再生において、画像中に文字が含まれるものは文字を読み上げる事ができます。

保存画像を読み上げるには、画像表示中に音声読み上げ／確定ボタンを押します。画面にテキスト読み上げ確認アイコンが表示されます。右側の音声読み上げアイコンをタッチするか、もう一度音声読み上げ／確定ボタンを押すと読み上げを開始します。読み上げをキャンセルする場合は、戻るアイコンをタッチ、読み上げを開始して、終了する場合は、メニュー／戻るボタンを押し、操作バーを表示し戻るアイコンをタッチします。

真ん中のアイコンは、自動回転アイコンです。読み上げは文字の方向を自動認識し、自動回転で修正しますが、画像の状態などにより、文字認識が正常な方向にならない場合があります。また、画像の状態によっては、文字の方向は合っているが違う方向に回転してしまう場合があります。そのような場合は、一旦読み上げを終了してから、操作バーを表示し回転アイコンで正常な方向に回転してから、再度、読み上げ操作を行い、その時に自動回転アイコンを自動回転無効にしてから読み上げを行います。

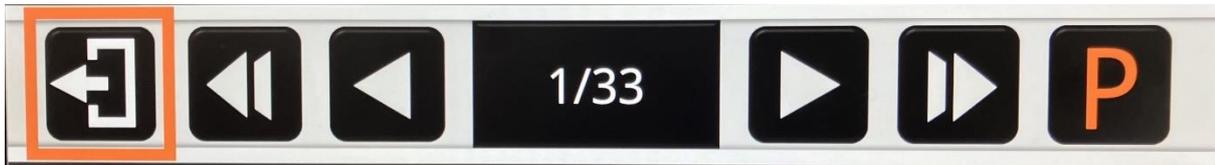
読み上げ中の操作バーの操作については、「テキスト読み上げ時の操作バー及びその他の操作」を参照してください。

画像の状態や文字が斜めに配置されているなど機器の判断により、正常に読めない場合や、画面に Not Found が表示され読み上げができない場合があります。本体メモリーの「画像」、「パソコンからの画像」、SD カードの「画像」フォルダーの中にある画像の文字は読み上げる事ができます。尚、「pdf とテキスト」フォルダーは読み上げる事はできません。

3. PDF 再生中にできること及び操作バーでの操作

pdf の再生は、拡大／縮小の倍率変更(ピンアウト／ピンチインも可能)、カラーモードの変更、スクロール操作が可能です。

3-1.操作バーでの操作



操作バーを表示すれば、下記の操作が可能です。

次のページを再生する又は、前のページに戻るには、操作バーの  /  のアイコンをタッチするか、操作レバー  で  /  へ動かして選択し、音声読み上げ／確定ボタン  を押します。

最初または最後のページに移動するには、 /  のアイコンをタッチする、または操作レバー  で  /  へ動かして選択し、音声読み上げ／確定ボタン  を押します。

pdf アイコン  をタッチするか、操作レバー  で  へ動かして選択し、音声読み上げ／確定ボタン  を押すと、txtモードに切り替わり、テキストで表示されます。

注意1: pdf モードからtxtモードへ切り替えた場合、画面表示において、文字列の表示順が正常に表示されず、後の行が先に表示される場合があります。これは、pdf の作成上に依存する場合などが考えられます。例えば、ワードから

pdf を作成した場合で、ヘッダーやフッターに文字がある場合、この文字がtxtモードでは1行目になる場合があります。

注意2: スキャナーなどから取り込んだ pdf ファイルは、正常にテキスト表示ができない場合があります。

txtモードでは、上記の操作バーの操作に加え、txtファイルの再生の操作もできます。「TXT 再生中にできること及び操作バーでの操作」を参照してください。

pdfに戻すには、操作バーのtxtアイコンをタッチするか、または操作レバーでへ動かして選択し、音声読み上げ／確定ボタンを押すと、pdf表示に戻ります。

文書一覧に戻るには、戻るアイコンをタッチする、またはメニュー／戻るボタンを長押しすると、文書一覧に戻ります。

txtモードから文書一覧に戻るには、一旦 pdf に戻す必要があります。その後、上記操作の、戻るアイコンをタッチする、またはメニュー／戻るボタンを長押しすると、文書一覧に戻ります。

4.TXT 再生中にできること及び操作バーでの操作

txtの再生においては、お好みの倍率(1倍=約9ミリ=25ポイント~約5倍=約45ミリ=127ポイント)と、カラーモードを変更することができます。倍率変更においては、ピンチアウト/ピンチインでも変更できます。

ページ内をスクロールするには、画面の中央付近をタッチしたまま上下に指を動かすか、画面右側のスライダーをタッチしたまま上下に動かす、あるいは操作レバー  を上下に操作します。

注意:txt 再生時の操作レバー  でのスクロールは、スクロール速度を変更することができません。

4-1.操作バーでの操作



操作バーを表示すれば、下記の操作が可能です。次のページを再生するには、操作バーの  /  のアイコンをタッチするか、操作レバー  で  /  へ動かして選択し、音声読み上げ/確定ボタン  を押すか、切り替えボタン  や焦点固定ボタン  を押すと、次ページやページを戻ることができます。

※ページについては、本機側で自動でページを区切りますので、転送元とのページは一致しません。本機側で1ページ以内となるものはページ送りをすることはできません。また、txt 表示について、文字間などパソコン画面上とは異なる表示となります。

最初または最後のページに移動するには、 /  のアイコンをタッチするか、または操作レバー  で  /  へ動かして選択し、音声読み上げ / 確定ボタン  を押します。

戻るアイコン  をタッチする、またはメニュー / 戻るボタン  を長押しすると、文書一覧画面に戻ります。

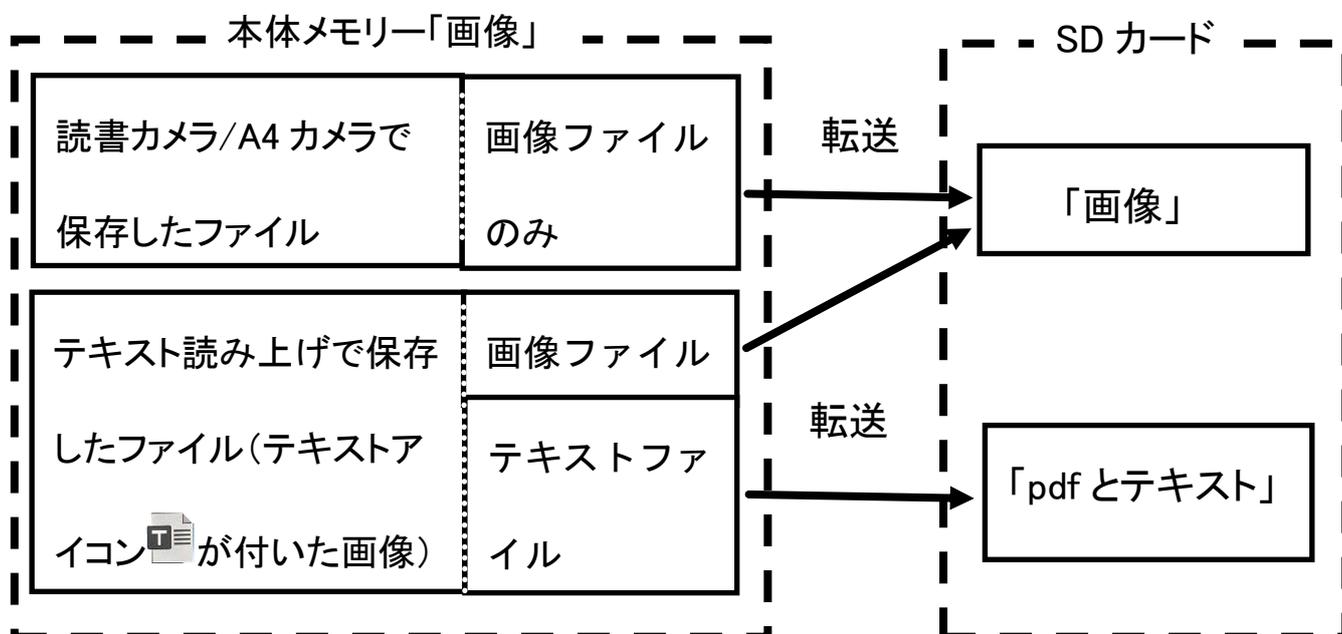
◆SD カードへ転送する

SD カードを挿入して本体メモリーの画像およびテキストファイルを SD カードへ転送することができます。本体メモリーの画像フォルダーをタッチするか、操作レバー  で選択し、音声読み上げ / 確定ボタン  を押して開き、転送する画面をタッチして選択するか、操作レバー  で選択します。選択している画像は、オレンジの四角の枠が付いている画像になります。画像一覧画面の左側の SD カードアイコン  をタッチする、または静止画シャッターボタン  を

押すと画像が転送されます。転送が完了すると、SD カードへの転送完了マーク  が約2秒表示されます。

転送するファイルが読書カメラ/A4 カメラで撮影し保存した画像ファイルの場合は、SD カードの「画像」へ転送されます。

テキスト読み上げで保存した画像ファイル(テキストアイコン  が付いた画像)の場合、画像ファイルにテキストファイルが付随した状態で保存されていますが、SD カードに転送すると、画像ファイルは SD カードの「画像」へ、テキストファイルは、SD カードの「pdf とテキスト」へそれぞれ自動で振り分けられます。



尚、テキストファイルは、転送されると、読み上げた最初の12文字がTXT_EXPORT/OCR※の後にタイトルとして付きます。(※は割振られた数字が自動的に挿入されます。)

SD カードアイコン  または、静止画シャッターボタン  を約3秒間長押しすると、全ての画像を SD カードに転送するための確認アイコン  が画面中央に表示されます。全ての画像を転送する場合は、画面中央に表示されるアイコンの右側の SD カードアイコン  を、キャンセルする場合は、左側の戻るアイコン  をタッチします。転送が完了すると、SD カードへの転送完了マーク  が約2秒表示されます。

※切り抜きを行った画像は、切り抜き後の画像が SD カードに転送されます。切り抜き前の画像を転送することや、SD カード内の画像再生において、切り抜き前の画像、切り抜き後の画像を切り替えることはできませんので、ご了承ください。また、音声ラベルは転送する事はできません。

複数選択機能を使用すると、一度に複数の画像を転送することができます。複数選択機能については、「複数選択機能」の項目を参照してください。

転送された SD カードを本機から取り出し、パソコンで認識すると、SD カード内に「PIC_EXPORT」、「TXT_EXPORT」というフォルダーが作成されます。

それぞれのフォルダーには、下記の内容が保存されます。

「PIC_EXPORT」・・・画像一覧画面で転送した画像が保存されます。

「TXT_EXPORT」・・・テキストアイコンが付いている画像を転送した時にその画像に付随しているテキストファイルが保存されます。

◆SD カードから本体へ転送する

SD カードの画像や pdf、テキストファイルを本体のメモリーに転送することができます。ファイルの内容により、下記の本体メモリーのフォルダーへ転送されます。

SD カードの画像・・・本体メモリーの「パソコンからの画像」へ

SD カードの pdf とテキスト・・・本体メモリーの「pdf とテキスト」へ

※同じファイルを転送すると、コピーとして転送され、同じファイルが保存されてしまいますので、ご注意ください。

SD カードの画像フォルダー又は、pdf とテキストフォルダーをタッチするか、操作レバーで選択し、音声読み上げ／確定ボタンを押して開き、転送する画像又は、文書をタッチして選択するか、操作レバーで選択します。選択している状態は、オレンジの四角の枠が付いています。画像一覧又は、文書一覧の左側の SD カードアイコンをタッチする、または静止画シャッター

一ボタン  を押すと転送されます。転送が完了すると、本体への転送完了マーク  が約2秒表示されます。

SD カードアイコン  を約3秒間長押しする、または静止画シャッターボタン  を約3秒間長押しすると、全ての画像または、ファイルを本体へ転送するための確認アイコン  が画面中央に表示され、各ファイルの右下にオレンジ色の小さいボックスが表示され、チェック✓が入ります。全ての画像または、ファイルを転送する場合は、画面中央の確認アイコン  の右側の SD カードアイコン  を、キャンセルする場合は、左側の戻るアイコン  をタッチします。転送が完了すると、本体への転送完了マーク  が2秒表示されます。

複数選択機能を使用すると、一度に複数の画像または、ファイルを転送することができます。

複数選択機能については、「複数選択機能」の項目を参照してください。

本機をパソコンに接続すると、本機に転送された内容をパソコンでも確認する事が出来ます。パソコンからの画像と pdf とテキストに転送されると、本体メモリー内に「PIC_SD_IMPORT」と「DOC_SD_IMPORT」というフォルダーが作成され、そのフォルダーに該当するファイルが保存されます。

「DOC_SD_IMPORT」・・・pdf とテキストが保存されています。

「PIC_SD_IMPORT」・・・画像が保存されています。

※パソコンとの接続は、「市販の USB ケーブルでパソコンから画像や文書を転送する」を参照してください。

◆市販の USB ケーブルでパソコンから画像や文書を転送する

市販の USB ケーブル(本機側 USB 差込口は type-C、パソコン側は Type-A)を使用してパソコンから画像や文書を転送することができます。パソコンに本機を接続すると、本機の画面にパソコンと接続されたアイコンが約2秒表示され、パソコン側では本機を USB ドライブとして認識します。

転送は、本機の USB ドライブへコピーペーストで行い、画像(ファイル形式は jpg、bmp、png)は、「パソコンからの画像」へ、文書(ファイル形式は txt、pdf)は、「pdf とテキスト」に自動で振り分けられて保存されます。なお、パソコンから本機へ転送することはできますが、本機で撮影した画像等は、パソコンへ直接取り込むことはできませんので、一度 SD カードへ転送してから、パソコンへ取り込んでください。

注: 本体メモリーの「画像」以外のフォルダ—例えば「パソコンからの画像」などの画像やテキストファイルを開いていると、パソコンとの認識ができませんので注意してください。

パソコン側の USB 端子は、Type-A の端子を使用してください。Type-A 以外の端子だと認識しない場合があります。また、ケーブルはデータ転送用を使用してください。

◆保存した画像／文書を削除する

画像や文書を削除するには、メニューの開く、から画像などの各フォルダーを開き、画像一覧や文書一覧画面において、削除したい対象物を選択し、ゴミ箱アイコン  をタッチする、またはライン／マスクボタン  を押します。削除対象物の上にゴミ箱マーク  が表示され、もう一度画面左下のゴミ箱アイコン  をタッチする、またはライン／マスクボタン  を再度押すと削除されます。誤って削除することを防ぐために、削除対象ファイル上にゴミ箱マーク  が表示されただけでは削除されません。その他のボタンや画面上をタッチすると削除をキャンセルします。

画像一覧や文書一覧画面において、ゴミ箱アイコン  、またはライン／マスクボタン  を約4秒間長押しすると、開いているフォルダーのすべての画像

を削除するための大きなゴミ箱マーク  が画面中央に表示され、もう一度画面左下のゴミ箱アイコン  をタッチする、またはライン／マスクボタン  を再度押すと、開いているフォルダーのすべての画像を削除します。誤って削除することを防ぐために、画面中央にゴミ箱マークが表示されただけでは削除されません。その他のボタンや画面上をタッチすると削除をキャンセルします。

複数選択機能を使用すると、一度に複数の画像を削除することができます。詳しくは複数選択機能の項目を参照してください。

◆複数選択機能

各フォルダーの画像一覧や文書一覧において、各画像や文書を長押しする、または音声読み上げ／確定ボタン  を長押しすると、複数選択が機能します。

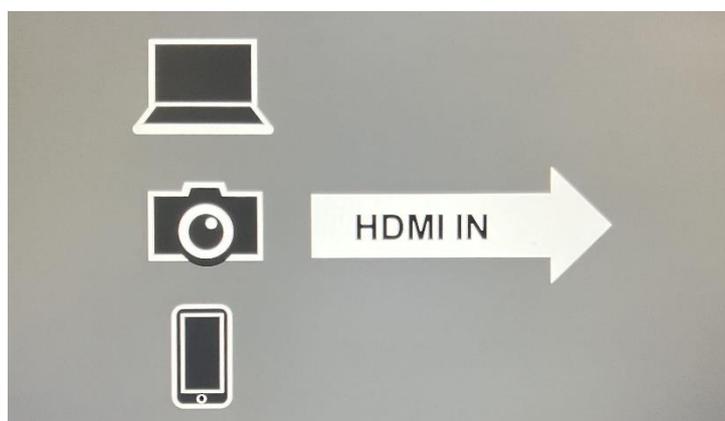
複数選択が機能すると、各画像や文書の右下に小さいボックスが表示されます。選択したい画像や文書をタッチする、または操作レバー  で選択し、音声読み上げ／確定ボタン  を押すと、ボックスがオレンジ色になり、チェック✓が入ります。

チェック✓が入った画像や文書を一括で削除する場合はゴミ箱アイコン  を、SDカードに転送する場合は、SDカードアイコン  をタッチします。画面の中央に、戻るアイコンと選択されたアイコン (  もしくは  ) が表示されます。実行するにはもう一度選択するアイコンをタッチします。複数選択画面に戻るには、戻るアイコン  をタッチするか、メニュー／戻るボタン  を押します。

複数選択機能を終了するには、画像や文書を長押しするか、左上の戻るアイコン  をタッチする、またはメニュー／戻るボタン  を押すと複数選択を終了します。

HDMI 入出力

HDMI 入力差込口(HDMI ミニケーブルが別途必要)を使用すると、接続している入力機器の映像を本機に映すことができます。例えばノートパソコンの画面情報を本機の画面上に表示し、拡大／縮小、スクロール、カラーモード調整などの機能も使用可能です。読書器(読書カメラ)使用時に、接続をすると外部入力に切り替わります。自動で切り替わらない場合は、切り替えボタン  を押すことで読書器(読書カメラ)と外部入力との切り替えができます。ただし、下記のような画面が出て、切り替えボタン  を押しても切り替わらない場合は、本機に映すことは出来ませんので、ご了承ください。



HDMI 入力差込口使用時の拡大についてですが、拡大／縮小ボタンで最大まで拡大しても拡大表示バーが約半分程度で止まる事があります。これは、仕様上のもので故障ではありません。

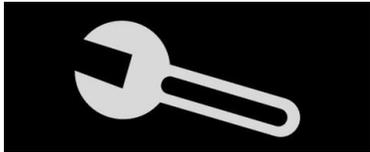
HDMI 出力差込口に付属の HDMI ケーブルを利用し、外部のモニターに接続することができます。より大きな画面で画像を見る事ができます。

外部モニターに出力されるのは、画像のみとなります。メニュー画面、操作バー、画像一覧画面やテキスト画面は出力されません。

※HDMI の入出力については、接続する機器により、正常に映像が映らなかったりする場合がありますので、予めご了承ください。

設定メニュー

メニュー／戻るボタン  を約2秒間長押しし、メニュー画面を開きます。設定をタッチするか、操作レバー  を右に押しして設定を選択し、音声読み上げ／確定ボタン  を押して確定します。設定メニューには3つのページがあり、画面上部に以下のアイコンが表示されます。設定メニューを開くと、基本設定ページが表示されます。



基本設定ページ



音声設定ページ



工場設定ページ

タッチする、または操作レバー  を左右に操作して開きたいページを選択します。

タッチする、または操作レバー  を上下に操作してページ内の変更したい項目を選択し、音声読み上げ／確定ボタン  を押して確定します。各項目の右側のマーク>がある項目は次のページに移動します。✓マークがある項目は、その項目が有効ということです。×に変更すると、無効になります。

◆基本設定ページのメニュー項目

1.色の組み合わせを変更する

タッチするか、操作レバー  で選択し、音声読み上げ／確定ボタン  を押すことにより設定ができます。カラーモードの項目のモードボタン  を約3秒間長押しすると、お好みカラー選択の設定画面になる内容と同じです。色の組み合わせについては、カラーモードのハイコントラストモード一覧(16種類の色の組み合わせ)を参照してください。

2.傾き補正

読書カメラ、A4 カメラ、テキスト読み上げ時に画面に映る対象物がカメラの角度により、手前から奥に向かって細くなっているような台形状に歪んだ画像の上下の傾きを補正する機能です。画面の角度を変更する際に生じる歪み(画面の上側と下側では倍率が違う)を自動で補正します。但し、角度によっては補正しきれない場合があります。無効にすると、補正を解除します。

3.省電力

約5分間何も操作しないと待機モードになり、さらに約10分経過すると自動的に電源がオフになる機能です。待機モード中は、画面と照明が消え、電源ランプは黄色に点灯します。

待機モード中に電源ボタン  を押すと、待機モードから復帰します。無効にすると、電源ボタン  で電源を切らないと、電源が切れません。

※省電力有効時において、周囲の光などの使用環境や本機のオートフォーカスなどの影響により、待機モードに入りにくい場合があります。

4.画像の切り抜き

画像の保存時に切り抜きを有効にするのか無効にするのかを選択できます。

5.振動

画面のタッチ操作の振動を有効にするのか無効にするのかを選択できます。

6.音声ラベル

画像の保存時に音声ラベルを取り付けるかどうかを選択できます。初期設定は、×の無効になっています。

◆音声設定ページのメニュー項目

1.音声設定

女性音声また男性音声から選択できます。

2.言語設定

お好みの言語を選択できます。読み上げを行う場合は、言語設定と、読み上げを行う原稿の言語を合わせてください。言語を変更すると、メニューで表記される言語や音声ガイドも変更されます。また、日本語以外の取扱説明書の用意はございませんので、ご了承ください。

3.音声ガイド

操作や状態を音声でお知らせする機能で有効にするのか無効にするのかを選択できます。

◆工場設定ページのメニュー項目

1.システムリセット(初期設定)

工場出荷時の状態に戻すことができます。ただし、保存された画像や文書は削除されません。

システムリセットをタッチすると、画面中央にアイコン  が表示されます。左側のアイコン  をタッチするとシステムリセットをキャンセルします。右側のアイコン  をタッチするとシステムリセットを実行し、システムリセットが完了すると、電源がオフになります。

システムリセットをすると、下記の項目が初期状態にリセットされます。「画面の明るさ」=最大、「倍率」=最小、「音量」=中央、「ラインとマスクのラインの色」=赤、「ハイコントラストモード」=黒背景に白文字、白背景に黒文字、黒背景に黄文字、「傾き補正」=有効、「省電力」=有効、「画像の切り抜き」=有効、「振動」=有効、「音声ラベル」=無効、「音声設定」=女性、「言語設定」=日本語、「音声ガイド」=有効、「電源周波数」=60Hz

2.電源周波数

ご使用の地域に応じて50Hz および60Hz をご使用いただけます。

リセット

動作不良や通常終了できない状態になった場合は、電源ボタン  と音量 (+) ボタンと音量 (-) ボタンを同時に押してください。本体がリセットされ、電源がオフになります。

廃棄の際のバッテリーユニットの取り外し方法

本機を廃棄する際には、お住いの自治体の規則に従って廃棄してください。バッテリーユニットを取り外す必要がある場合は、以下の手順に従い、取り外してください。バッテリーを取り外して保管することは大変危険ですので、決して行わないでください。

バッテリーが消耗し、バッテリーユニットの交換が必要になった場合は、販売店または巻末に記載しております、お客様相談室にお問い合わせください。

バッテリーユニットの取り外し手順は以下の通りです。

①AC アダプターを本機から外し、電源を切り、写真のように、液晶モニターが下になるように裏返します。

※裏返し時、液晶モニターの傷や破損にご注意ください。



②液晶モニターの背面のバッテリーロック解除ボタンを押しながら、くぼみに指を入れ、バッテリーユニットを引き上げ、外します。



故障かな？と思ったら

電源が入らない

- AC アダプターを接続してください。
- バッテリーを充電してください。

画面が黒いまたは白い

- テーブルに何も置かれていない場合は、画面は黒または白になる場合があります。
- 倍率が高すぎると文字がないところが映っている可能性がありますので、倍率を調整してください。
- カラーモードを変更してください。
- コントラストを変更してください。
- 本体を再起動してください。
- 本体をリセットしてください。

画像が変わらない

- 画像を静止または再生中は、画像は変わりません。
- 本体を再起動してください。
- 本体をリセットしてください。

画面にしみやごみのようなものが映る

- 明るさを調整してください。
- 液晶モニターとカメラをクリーニングクロスで軽く拭いてください。

ピントが合わない

- 焦点固定が ON になっていないか確認してください。
- 画面を2秒間長押し、もしくは焦点固定ボタンを長押しし、フォーカスを合わせてください。

読み上げてる内容が意味不明になる

- 数回読ませても状況が変わらない場合、付属の「テキスト読み上げ確認用サンプル」を正常に読み上げるか確認をしてください。

「テキスト読み上げ確認用サンプル」を正常に読み上げる場合、読み上げたい原稿が本機では正しく認識できない原稿という事になります。

「テキスト読み上げ確認用サンプル」を正常に読み上げない場合、本機に何らかの不具合が生じている可能性があります。

→カメラ部(読書/A4 カメラ)が汚れていないか確認し、汚れている場合

は、付属のクリーニングクロスで汚れを拭き取り、再度読み上げてみてください。

→リセットやシステムリセットしてみてください。

その他

- システムリセットしてください。
- 本体をリセットしてください。

問題が解決しない場合は、お近くの販売店もしくは巻末に記載しております、
お客様相談室にお問い合わせください。

商品仕様

液晶モニター	12.5 インチ IPS 液晶タッチパネル、 解像度:1920 x 1080 ピクセル
カメラ	読書:フル HD:解像度 3840 x 2160 ピクセル A4:フル HD:解像度 4000 x 3000 ピクセル
倍率	読書:約 1.5~60 倍(倍率は表示角度により変化します) ピント:カメラから約10cm~無限大 A4:約 0.7~16 倍(倍率は表示角度により変化します) ピント:カメラから約 12~18cm
カラーモード	フルカラー、白黒・白黒反転などハイコントラストモード全16種類
画面の明るさ	無段階に調整可能
照明	LEDライト左右それぞれオンオフ可能
コントラスト	ハイコントラストモード調整可能
保存	本機での撮影保存分:2.7GB(例:読書カメラで撮影約200枚又はA4カメラで撮影約160枚保存可能) PC から本機への保存分:1.7GB
ファイル形式	画像:JPG、BMP、PNG 文書:PDF、TXT
バッテリー	リチウムイオン 連続使用時間:4~5時間(画面の明るさや使用環境で変更します) 充電時間:約3時間
AC アダプター	入力:100-240V 出力:12V/3A
外形寸法	折り畳み時:横約 378 x 縦 262 x 高さ 40mm 使用時:横約 378 x 縦 262 x 高さ 262mm
重さ	約 2420g
SD カード容量	2TBまで SD/SDHC/SDXC
HDMI 入出力	1080P

お客様相談室

フリーダイヤル: 0120-886-610

受付時間: 平日 9:00～12:00

13:00～17:30(土曜・日曜・祝日は休み)

製造元: SightCare Technology CO., LTD

輸入販売元: 株式会社システムギアビジョン

〒665-0051 兵庫県宝塚市高司 1-6-11

TEL: 0797-74-2206 FAX: 0797-73-8894

URL: <https://www.sgv.co.jp>

E-mail: sgv-info@systemgear.com